

成果品

平成19年4月から平成20年3月までの4工法施工実績表の発刊(平成20年6月11日)
大口径岩盤削孔工法・施工機械技術資料第5版追加版の発刊(平成20年2月28日)

広報活動

- 1.協会ニュース1回第26号(平成20年1月30日)
- 2.岩盤削孔技術協会 設立20年の歩み(平成20年6月11日)



加納前会長へ感謝状贈呈



国土交通省・総合政策局
建設施工企画課
中野課長 祝辞



(社)日本建設機械化協会
大口径岩盤削孔技術委員会
矢作委員長 祝辞



見波会長 挨拶



宮川副会長 中締め

User Interview

中村工業(株) 専務取締役 中村 安宏氏

今回は、九州地方を中心に、ロックオーガ工法、ドーナツオーガ工法で活躍されている中村工業(株)の取締役であります中村安宏専務を訪ねてインタビューしました。

記者： 貴社ではどのような工事で岩盤削孔工法を使用されていますか？

中村： 主に岩盤層や礫層でのSMW工事における先行削孔に使用しています。九州地方の岩盤層は、頁岩・砂岩・泥岩・花崗岩・転石と多種多様で、それぞれの特色を考慮したドーナツオーガ工法で鉛直精度を確保した施工をしています。また、既存地下躯体・PC杭・RC杭の破碎・引抜工事にも我社のロックオーガ工法が活躍しています。

記者： 岩盤削孔で苦労された話を聞かせてください。

中村： 石英を含む1軸圧縮強度80N/mm²の花崗岩の削孔が、大変苦労しました。ドーナツオーガとしては、国内最大級のSMD-240HPを保有していますが、1日に50cmしか削孔できない日もあり、先端超硬ビットやオーガヘッドの改良を重ねての難工事でしたが、ケーシングを併用

し、鉛直精度を確保しながら削孔ができ、あと施工のSMW工事のII型钢材の建て込み精度も確保できました。施工の上で配慮していることを教えてください。

記者：

中村： 当社では特に安全管理に力を入れています。過去の様々な災害事例を熟知させ、災害防止に努めさせています。また、私達幹部によるパトロールを充実させ、作業員1人1人に、安全に対する意識の向上を図っています。

記者： 最後に何かありますか？

中村： 最近では、環境問題にも迅速な対応が求められています。当社では、発電機にエコパックと言う装置を設置し、使用燃料の節減や大気汚染の削減に取り組んでいます。高騰する燃料費やCO₂の削減対策に有効な対策だと思います。

記者： 大変お忙しい中、ありがとうございました。今後のますますのご活躍をお祈りします。



中村 安宏氏

(中村工業(株)高橋 智浩)